

●●●●=必ず記入 ○○○○=計画に応じて該当するところを記入

1 当該学年・学期等における探究課題 《《地域の産業及び生産者の方との関わりや将来の働き方について考える》》

2 単元名 『ワーク&ライフ職場体験』 (全30時間=実施時期:6月~9月 発表11月)

3 単元のねらい \*本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け(主な素材・活動等)を明確に

学び方を身につけると共に、「井原Lovers」との交流や職場体験学習を実施する中で自分たちのまちで働く人々の働き方や生き方を理解するとともに 自分たちとまちとのかかわりや将来の働き方から課題を見だし、その解決に向けて主体的に情報を収集し目的に応じて比較したり関連づけたりして考える力を育て、地域の人々の思いや願い、自分の夢を大切にしながら主体的に行動しようとする態度を育てる。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと(こと)」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		職業調べの情報を生かし、ワーク&ライフ職場体験で学ぶことを知る。	体験する職業について知る。 仕事をするときのマナー、うかがわせていただく前のアポイントの取り方について知る。	体験で学んだことや生き方について知ったことを整理する。	学んだことのうち、大切なことや伝えなければならないことをプレゼンテーションソフトにまとめて発表する。
引き出したい姿	いばら愛 (郷土愛と当事者性)				美星町の事業所での活動を伝えることで、美星町の現状や仕事について考える。
	やり抜く力 (忍耐と向上心)	ワーク&ライフ職場体験に見通しを持って取り組む。		体験で学んだことや知ったことの中で大切なことや人に伝えたいことをまとめる。	自分の考えをまとめ、地域の方の前で発表する。
	まき込む力 (発信と協働)		ワーク&ライフ交流会で自分の意見を伝えることができる 体験先の人とのコミュニケーション力		事業所の特徴を知り、キャッチコピーを発表する。 保護者などへ考えを伝える。
仕掛け・工夫	もの		タブレット端末	日誌に記録をとる。	タブレット端末
	ひと		ワーク&ライフ交流会 高校の先生(マナー講座) 体験先の担当者		事業所、保護者などへのまとめの発信。
	しごと(こと)		体験する職業について知る。		
アウトプットの工夫		得た情報をタブレット端末を用いて文字や映像でまとめることができるようにする。 発表会を設定し、まとめたものを、ワーク&ライフ職場体験でお世話になった方や保護者、地域の方へ発表する。			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

道徳、学級活動、社会

6 他学年、他校(園)種、外部団体との連携・接続・交流

校内で他学年への発表、高等学校によるマナー講座  
ワーク&ライフ交流会

◆単元のねらい

学び方を身につけると共に、「井原Lovers」との交流や職場体験学習を実施する中で自分たちのまちで働く人々の働き方や生き方を理解するとともに 自分たちとまちとのかかわりや将来の働き方から課題を見だし、その解決に向けて主体的に情報を収集し目的に応じて比較したり関連づけたりして考える力を育て、地域の人々の思いや願い、自分の夢を大切に主体的に行動しようとする態度を育てる。

〈目的〉

- ・ふるさと井原の魅力的な「ひと」「もの」「しごと」に出会う。
- ・職場体験で出会った方との関わりを通して、確かな職業観と豊かな人生観を身に付ける。
- ・自己の生き方を深く考え、様々な課題を乗り越えていくことのできる力を養う。

〈ワーク&ライフ職場体験を終えて（生徒のまとめ）〉

- 給料をもらうということは、働いて誰かの役に立つことによりお金がもらえるということがわかった。人とのかかわり方や、態度、生活面の行動で相手に与える印象が変わってくるので身につける必要がある。
- どんなことでも工夫すれば良くなるが増えることができました。言われたことだけでなく、さらに、自分なりの考えをプラスすることが必要だと思いました。

ひとに出会う 1 〈ワーク&ライフ交流会〉

いろいろな井原の大人（仕事・生き方）や価値観と出逢い、自分らしく働くこと・生きることに関心を持つことができました。



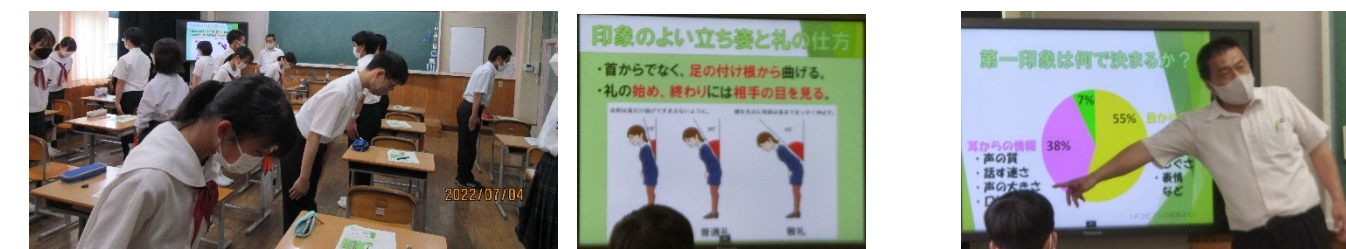
ひとものしごとに出会う

美星町内9つの事業所にお世話になりました。どの事業所の方も、生徒たちに「働くこと」と「働く大人の生き方」を示してくださいました。



ひとに出会う 2 〈マナー講座〉

社会人としてのふるまいや身だしなみについて学習しました。



◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 働くことの大変さ、大切さを体感できた。○自分がだれかの役に立つという経験をする事ができた。○コロナ禍でも、受け入れてくださる事業所があり、ありがたかった。
- △3日間の体験だけでは、体験しきれない部分がある。
- ☆1年の「郷土学習」で美星町の歴史や課題を知り、2年の「職場体験」で働く大人について知ったので、来年度は美星町の良いところをアピールしたり、課題をクリアしたりできるようなプロジェクトを企画し、実現につなげていく。